農林水産省登録
第２１９５４号

殺菌剤

プロポーズ®

顆粒水和剤

べと病・疫病に

2成分で優れた効果

予防 と 治療

残効性 耐雨性

100g　500g

自然に学び 自然を守る
クミカ

®はクミアイ化学工業(株)の登録商標です。

殺菌剤

プロポーズ®

顆粒水和剤

殺菌剤分類　40,M5

●有効成分：ベンチアバリカルブイソプロピル……5.0%
TPN……50.0%

●人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）

詳しい使い方、登録内容はこちらから

特長

1 2つあわせて優れた効果

べと病・疫病に対し予防効果・治療効果の高い**ベンチアバリカルブイソプロピル**と、幅広い病害に予防効果の高い**TPN**との混合剤です。感染前から感染初期の散布でべと病・疫病に卓効を示します。

2 タフな殺菌剤

葉内への浸達性に優れ、**長い残効性**や**高い耐雨性**を有し、安定した防除効果が期待できます。また、既存剤に抵抗性を示す各種耐性菌にも効果を発揮します。

3 使いやすい!

散布液調製時に粉立ちが少なく溶けやすい**顆粒水和剤**です。

■適用病害及び使用方法

2022年3月現在

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール当り使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンチアバリカルブイソプロピルを含む農薬の総使用回数	TPNを含む農薬の総使用回数
きゅうり	べと病	1000～1500倍	100～300ℓ	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	14回以内（土壌灌注は2回以内、散布、常温煙霧、くん煙及びエアゾル剤の噴射は合計12回以内）
	褐斑病、うどんこ病、黒星病	1000倍						
トマト	疫病	1000～1500倍						6回以内（土壌灌注は2回以内、散布、常温煙霧、くん煙及びエアゾル剤の噴射は合計4回以内）
	葉かび病	1000倍						
ミニトマト	疫病	1500倍			2回以内			2回以内
はくさい	べと病、白さび病、黒斑病、白斑病	1000倍		収穫7日前まで				3回以内（は種又は定植前の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）
ブロッコリー	べと病			出蕾前但し、収穫21日前まで				3回以内（土壌灌注は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内）
かぼちゃ	べと病、疫病、うどんこ病			収穫7日前まで	3回以内			3回以内
すいか	褐色腐敗病、炭疽病			収穫3日前まで	5回以内		5回以内	5回以内
アスパラガス	疫病	1500倍		収穫前日まで	3回以内		3回以内	4回以内
たまねぎ	べと病、白色疫病、灰色かび病	1000倍		収穫7日前まで				6回以内
ばれいしょ	疫病 夏疫病	750～1000倍			5回以内		5回以内	5回以内
		250倍	25ℓ					
		32倍	3.2ℓ			無人航空機による散布		
		16倍	1.6ℓ					
なす	褐色腐敗病、すすかび病	1000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内	4回以内
メロン	べと病、つる枯病			収穫3日前まで	5回以内		5回以内	5回以内
キャベツ	べと病			収穫14日前まで	2回以内		2回以内	3回以内（は種又は定植前の土壌混和は1回以内、散布、無人航空機散布及びエアゾル剤の噴射は合計2回以内）
ねぎ	べと病、葉枯病				3回以内		3回以内	4回以内（土壌灌注は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計3回以内）
だいず	茎疫病、べと病、紫斑病			収穫21日前まで	2回以内		2回以内	2回以内
らっきょう	白色疫病			収穫14日前まで	3回以内		3回以内	3回以内

上手な使い方

- **長い残効と予防、治療効果を活かし、べと病や疫病の重点防除期での使用をお勧めします。**
- **治療的散布でも卓効を示しますが、病気がまん延してからの散布では効果が劣りますので、初発病斑を見つけたら直ちに散布し、病気のまん延を防ぎましょう。**
- **病害を効果的に防除するために、発生予察を心がけましょう。**

⚠使用上の注意事項（抜粋）

- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- あんずに対して薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合はかからないように注意してください。
- ばれいしょに対して希釈倍数250倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

⚠安全使用上の注意

- 粉末は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 皮ふに対して刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服などは他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物などとの接触を避けてください。
- 夏期高温時の使用を避けてください。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池などに飛散、流入しないよう注意して使用してください。無人航空機による散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意してください。使用残りの薬液が生じないよう調製を行い、使い切ってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川などに流さないでください。また、空容器、空袋などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した場所に保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。　●ラベルの記載以外には使用しないでください。　●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。　●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2022年3月現在の知見に基づき作成しています。　2120（22-7）

JAグループ
農協　全農　経済連
全農 は登録商標　第4702318号

自然に学び　自然を守る
クミアイ化学工業株式会社
本社：東京都台東区池之端1-4-26　〒110-8782　TEL.03-3822-5036
ホームページアドレス　https://www.kumiai-chem.co.jp